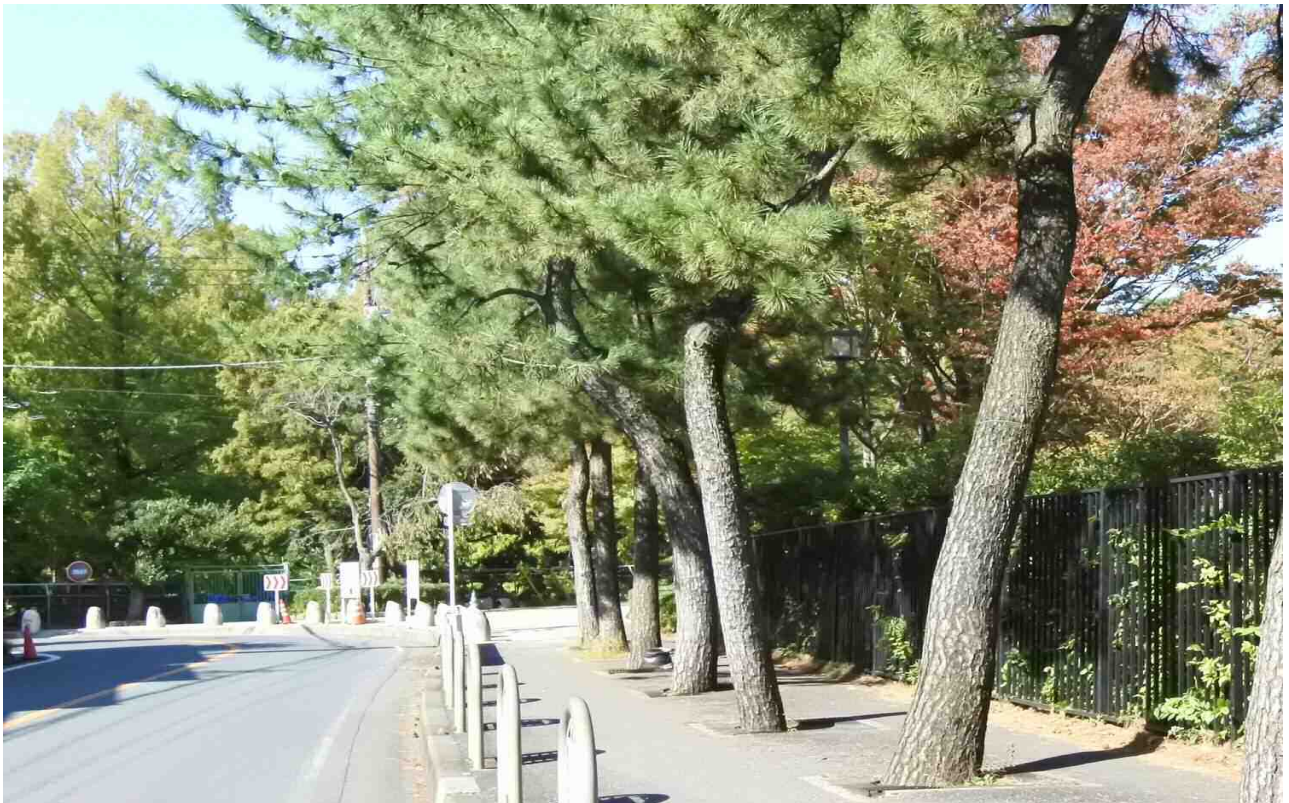


会報

社会参加で生きがいづくり

さいたまシルバー



目次

「大宮公園南道路添いの赤松」

- 新年のご挨拶.....2~3
- 事業実績.....4~5
- 各種講習・研修会.....6~7
- 就業会員の声・発注者の声.....8~10
- 地域班活動・親睦互助会.....11~13
- 女子会活動報告.....14
- 安全だより.....15
- 事務局より・表紙の言葉・編集後記.....16

第35号

2019.1.1

迎春



公益社団法人 さいたま市シルバー人材センター

〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内

Tel:048-669-0303

Fax:048-669-0305

さいたま市シルバー

検索

<http://saitama-sjc.or.jp/>



新年のご挨拶

公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**

理事長 佐伯 鋼兵

新年あけましておめでとう
ございます。

皆様方におかれましては
健康やかに新春をお迎えにな
れたことと心よりお喜び申
上げます。

昨年中は当シルバー人材セ
ンター事業運営に格別のご支
援とご協力を賜り深く感謝申
上げます。

さて、我が国の社会情勢は、
人口減少・少子高齢化の進行
のもとで、継続雇用制度の義
務化をはじめ介護保険制度の
改定、さらにはライフスタイ
ルの多様化等その変化はめま

ぐるしいものがあります。ま
た企業においては労働力人口
が減少する中、サービス業等
の人手不足分野や介護、育児
等の現役世代を支える分野に
おいて、高齢者が社会の担い
手として活躍することが望ま
れています。

このような中、高齢者が社
会の担い手として活躍できる
場を提供することが、社会に
求められており、シルバー人
材センターは、こうした社会
的要請の一翼を担いつつ、会
員が生きがいを持って活動で
きるよう豊富な知識と経験を

活かせる仕事を開拓し、これ
まで以上に働く意欲のある高
齢者の受け皿となれるよう、
そのニーズに応えた事業展開
を図って行く必要があります。

働く意欲のある高齢者に一
人でも多く会員として入会し
ていただき、そして就業して
いただくことがシルバー人材
センターの本来的使命でもあ
りますので、本年も「自主・
自立、共働・共助」の基本理
念のもと、休日入会説明会や
女性向け入会説明会を引き続
き開催し会員の増強に努める
とともに、会員が健康で「安

全」に、そして「安心」して
働くことができる環境づくり
と、派遣事業の拡大も含め、
就業開拓に積極的に取り組ん
でまいる所存です。

「みんなの笑顔のために」
魅力あるさいたま市シルバー
人材センターを目指し、事業
運営を図ってまいりますので、
関係各位のより一層のご指導
ご協力をお願い申し上げます。
最後に、新しい年が皆様にと
って明るく、活力と希望に
満ちた幸多き素晴らしい一年
となりますことをご祈念申し
上げまして、新年のご挨拶と
させていただきます。





新年のご挨拶

さいたま市長 清水 勇人

新年、明けましておめでとうございます。

シルバー人材センター会員の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃からさいたま市シルバー人材センターの皆様方には、市政全般にわたる格別の御協力と御支援を賜り、感謝と御礼を申し上げます。

さて、さいたま市は平成13年5月1日に、3市合併をし、約103万5千人の人口を擁する大都市として誕生しました。その後、政令指定都市へ

の移行、旧岩槻市との合併を経て、昨年9月18日に総人口が130万人を突破しました。

このことは、市民の皆様や事業者、企業の方々、それぞれのお立場で地域づくりにかわり、魅力あるさいたま市として、市内外から受け止められているという結果であると思えます。

今後、「市民一人ひとりがしあわせを実感できる『絆』」で結ばれたさいたま市、「誰もが住んでいることを誇りに思えるさいたま市」の実現を目指し、まちづくりを進めてまいります。

団塊の世代が75歳以上の

後期高齢者になる2025年には、高齢化率が25・7%に、後期高齢者の割合も15・4%に達する見込みとな

っており、さらに高齢者人口の増加が続くと見込まれます。

このような超高齢社会において、本市としましては、高齢者の社会参加を促進し、市民一人ひとりが「生涯現役」として地域の中で引き続き活躍できる環境を整える必要があります。

また、少子化に伴う労働力人口の減少が懸念される中、働く意欲のある高齢者の力は

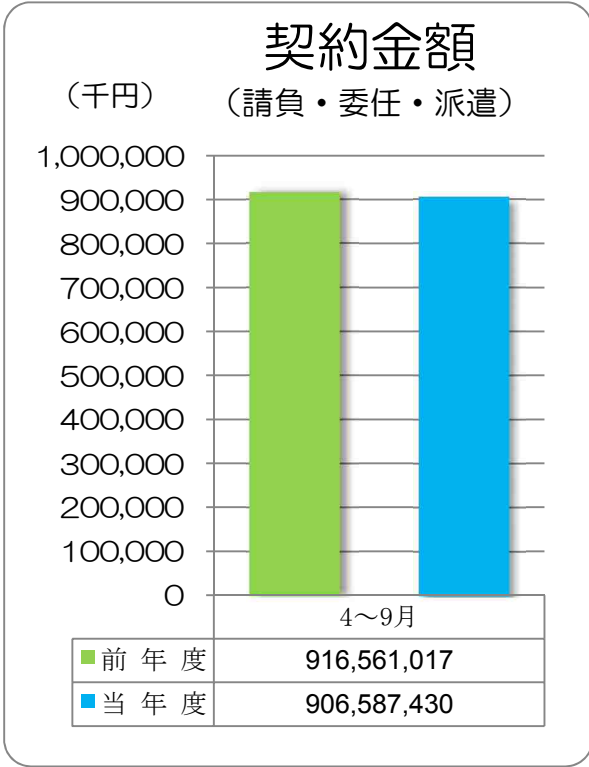
必要な労働力としてますます求められてまいります。

シルバー人材センターにおかれましては、引き続き会員の皆様の豊かな経験や技術に対応した就業先の開拓など、高齢者が社会参加できる環境づくりに積極的に取り組んでいただき、今後ますますの充実と発展をしていくことを期待しております。

最後になりますが、新しい年が、シルバー人材センターの会員の皆様方にとってより佳き年となるとともに、会員の皆様がますますお元気で御活躍されることを、心から御祈念申し上げます。御挨拶とさせていただきます。



平成30年度上半期実績

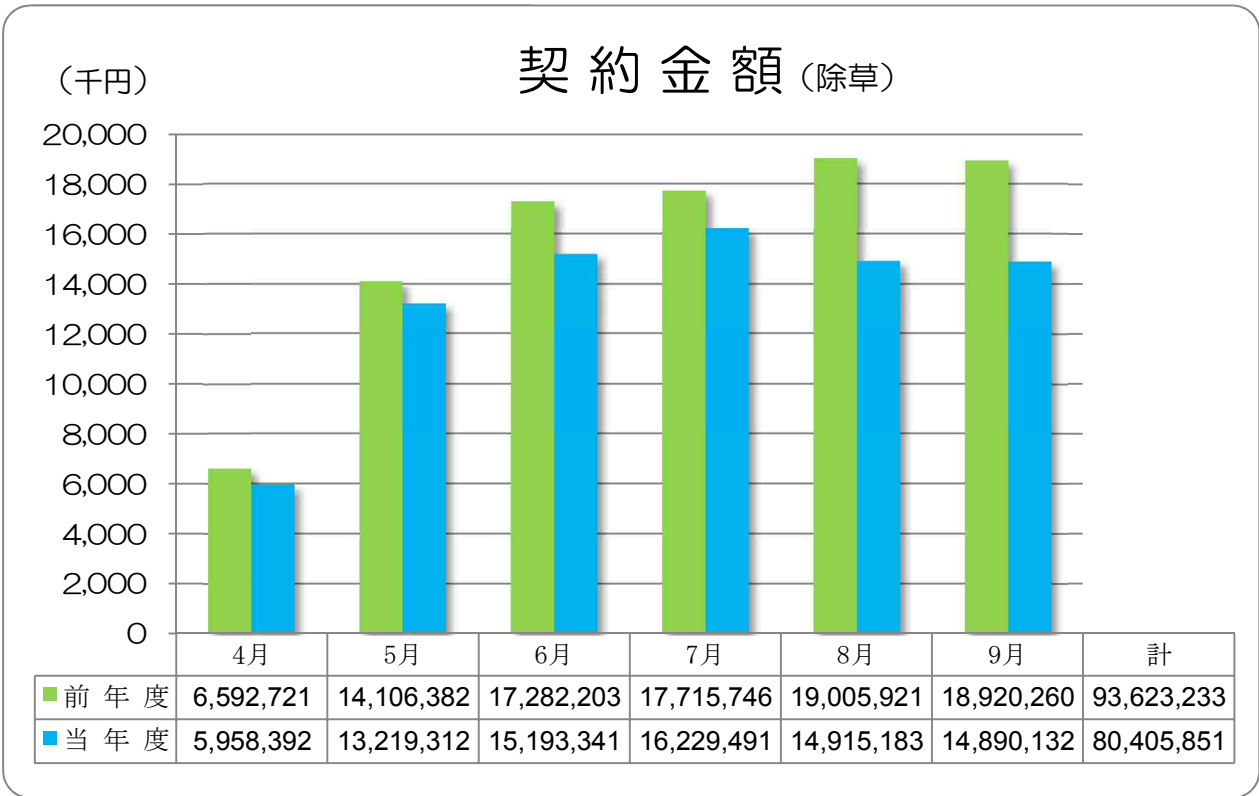


昨年度と比べ、上半期の契約金額は1.1%減、金額にすると約1千万円の減となっています。

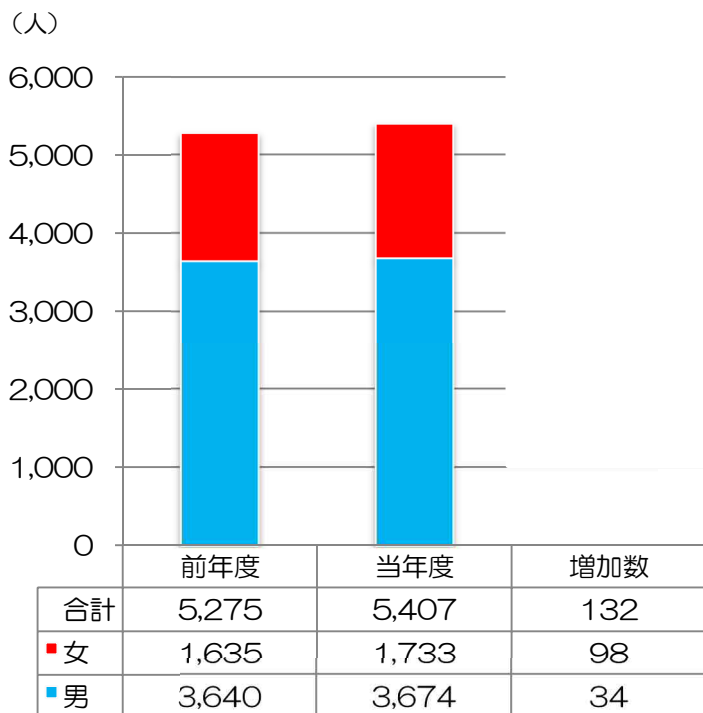
職群別に確認すると、除草については約1千300万円の減となりました。これは猛暑や台風などの天候不順の影響により作業が進捗しなかったことが影響しています。

特に7月から8月にかけては災害級の暑さとなりましたので、日数を減らして作業していただきました。事業実績が下がったことは残念ですが、安全就業を優先したことによるものと捉えています。

除草班に限らず安全を優先し、無理な作業は控えましょう。



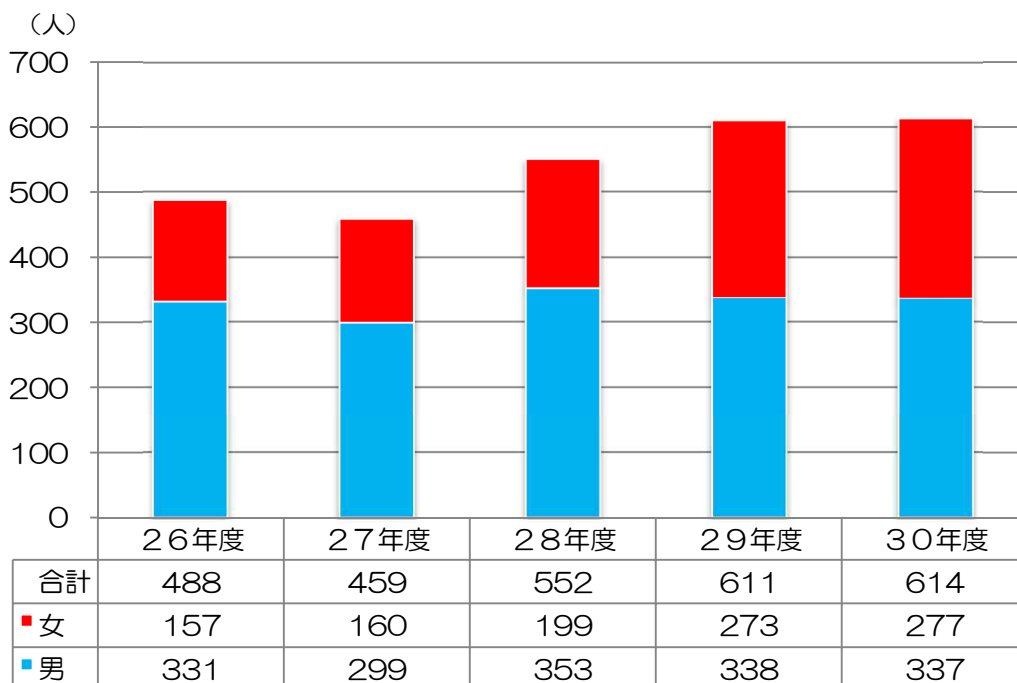
男女別会員数 前年比



9月末時点での会員数は昨年度と比べて132名増加しています。男女別に見ますと、女性の増加数が男性に比べて3倍近くになっています。これは昨年度から始めた女性入会説明会によって入会者数が増えていることや、女子会などの企画により退会者が抑制されて

いるものと捉えています。男女別入会者数を見て昨年度から女性入会者が増えているのが見て取れます。また会員数は増えながら入会者数は昨年度と変わらないことから退会者が減少していることが伺えます。

男女別入会者数 (4~9月)



各種講習・研修会

次のような講習や研修が、本年度上半期に実施されました。

Pick Up

実施された研修・講習の中から一つを取り上げて紹介します。

植木職人養成研修

植木職人養成研修は会員研修ですが、植木班の増強を目指して、一般市民にも募集をかけて実施しています。

3日間の日程のうち、初日は座学としてシルバー人材センター浦和事務所にて実施しました。シルバー人材センター植木班の班長・副班長が講師として、午前は剪定道具の説明、安全に対する心構え、午後は植木剪定の基本について講義しました。

2日目、3日目は市内の植木剪定現場で実地研修を実施しました。実地研修では植木班の班長・副班長の指導のもと、実際に剪定ばさ

みを使い実習を行いました。受講された方には修了証が発行され、多くの方が植木班として活躍しています。



会員研修・講習

シルバー人材センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る講習ならびに研修です。

① 植木職人養成研修

6月15日～19日 42人参加
会場・浦和事務所
障害者交流センター

② パソコン講習

第1回 初めてのパソコン
5月22日～24日 9人参加
会場・与野事務所

第2回 ワード入門
6月26日～28日 14人参加
会場・与野事務所

第3回 エクセル入門
7月6日～8日 15人参加
会場・与野事務所

③ 刈払機取扱い研修

7月10日 20人参加
会場・七里総合公園



④ 救命講習

9月6日 16人参加
9月13日 27人参加
会場・ふれあい福祉センター



⑤ 接遇研修

9月11日 35人参加
会場・ふれあい福祉センター



⑥ コンプライアンス研修

9月12日 38人参加
会場・ふれあい福祉センター



高齢者生きがい

活動センター事業

さいたま市内の高齢者に対し、各種研修及び技術指導を行うことにより就労を支援します。高齢者の豊かな経験、知識及び技能を活用した地域活動を支援し、生きがい活動の場を提供することにより、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを促進するための事業です。

① パソコン講習

- 第1回 初めてのパソコン
7月3日～6日 20人参加
- 第2回 ワード入門
8月7日～10日 20人参加
- 第3回 エクセル入門
8月28日～31日 20人参加
- 第4回 初めてのパソコン
9月4日～7日 18人参加

② 傾聴ボランティア養成講座

6月15日～7月13日
44人参加



講習会・研修会のお申込みについて

各種講習会、研修会についてのご案内は、毎月発行している「会員ニュース」や「市報さいたま」に掲載されます。

お申込みについては講習会や研修会ごとに内容や会場が異なりますので、それぞれご確認のうえ、掲載された申込み先までお願いいたします。

受講希望者が定員を超えた場合は抽選となりますが、就業に必要な技能と知識を身につけられますので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

就業会員の声

浦和会員の 北原 厚さん

北原さんは一昨年、シルバー人材センターの会員となり、それと同時に清掃の業務に就かれました。会員となったきっかけは友人からのお話と、ネット検索との事。

前職はさいたま市内の小・中学校で音楽の先生として指導し、退職後は学校の警備、公園の清掃、新聞配達等も経験されたそうです。現在はさいたま市内の小学校の外周清掃を月曜日から金曜日まで、2名で交代で就業されています。

清掃の時間は通常8時30分から9時30分の1時間ですが、11月は10時30分までの2時間となります。それでも落ち葉の量が多く時間が足りません。また雨天の時の作業は中止となり、別の日に振り替えられます。スケジュールについては前もって作成、それに基づいて作業をします。「外周清掃のため車両と通行人に気を遣うが、

そういう方たちとの触れ合う機会もあり、その時の嬉しさと同時にやりがいを感じる瞬間でもある」と言われました。

趣味はカヤック、ジェットスキー等のマリンスポーツ、マラソン、オートバイ、4年前まではモトクロスに出場。ベンチアーズバンドではベースを担当。奥様は卓球、コーラス等で活動されているそうです。健康と体力に心配はないが、「最近、少し血圧が高めかな」と医師に言われたそうです。健康維持の大切さをあらためて感じさせられました。

(取材・吉川編集委員)



与野会員の 長島 吉治さん

植木班が使う道具を、朝晩トラックに積んで現場に運ぶ仕事です。夕方引き上げるときは剪定した枝などのごみも運ぶことができます。

植木班の求めに応じて剪定に必要な三脚、梯子、ロープなど、与野事務所の倉庫にある道具を現場に運ぶ仕事。もう17年もされています。

「仕事は月に15日ほどですが、繁忙期には20日ぐらいになりますね。朝は忙しいです。現場の住所が分からなかったり、間違っていたり、地図も路地の中までは分かりにくいので、彼らも時間で仕事をしているので、5分でも遅れると嫌がります」。

山形県生まれの75歳。兄と二人の姉もご健在。10代で「金の卵」ともてはやされた集団就職で東京都内の町工場等に勤めたあと、県内の自動車メーカーの会長とその息子さんの運転手を長年された。「色々な所に行って色々な面白い経験をしました。社内の裏話もよ

く耳にしましたが、人には一切話しませんでした」。

懐かしそうな語り口に、穏やかで実直な人柄が表れる。結婚後は旧与野市にお住まいになられた。

「この辺は災害がなくて良いところですね」。今は奥さんとJRに勤める息子さんとの3人暮らし。ご趣味はヘラ釣り。「釣りが健康法です。でも座りっぱなしだから膝が痛くなるんです。1日か2日で回復するから良いですが」。今望むことは息子さんの結婚が早く決まってお孫さんの顔を見ることがだそうです。

(取材・馬場編集委員)



岩槻会員の 目黒 忍さん

目黒さんは72歳、明るく元気で、実直な方、岩槻の徳力に45年住み、4年前から慈恩寺親水公園の管理リーダーとして就業しています。同公園は慈恩寺沼を囲むよう整備され、滑り台やブランコのある子ども広場等もあり、釣りや遊歩道散策、四季折々の花等を楽しむことができます。

この管理業務に4人の会員で、夏場8時間、冬場7時間、一人当たり月7〜8日で、年間休みなく、対応、1時間毎に公園内のゴミ拾いなどをしながら見回ります。その時にキャッチボールやサッカー、ゴルフ練習の人には注意し、水辺で遊ぶ子供たちがいれば声をかけ、常連の釣り人達とは挨拶を交わします。公園内で異常があれば、市の公園緑地協会の岩槻公園協会に連絡します。公園に来てくれる方々からの情報も多いので助かっているそうです。毎日日誌を付け、台風の日でも休みなく対応します。就業時間が長いことから「普段

の健康管理に気を付けて、会員同士のコミュニケーションを絆に、みんな仲良くをモットーに就業しています」と話していました。

奥さんの実家は建具屋さんで、いつのまにか、障子貼りや網戸張替えもするようになりました。30坪程の貸し農園で奥さんと共に家庭菜園をしていて、ナスやピーマン、シシトウやトマト等を収穫して楽しんでいきます。

3人の子供さん家族(お孫さんは8人)と収穫を分け合い、新鮮な野菜で喜ばれているようです。奥さんのサポートのもと、このように充実したシニアライフを過ごしていて、こちらも励まされました。

(取材・菅野編集委員)



社会福祉法人 敬寿会

埼玉さくらんぼ I・II 番館 様

埼玉さくらんぼ I・II 番館サテライト施設)はさいたま市南区にある特別養護老人ホームで、施設長の林芳博様をお訪ねしました。「シルバー人材センターのこと

発注者の声

は県の職員時代に高齢者福祉関係を永く担当していたこともあり、承知していただきました。平成24年にI番館が開館し、それと同時にからシルバー人材センターを利用するようになりました」とのこと。

就業時間は8時45分から11時45分までの3時間が基本。I番館は火、木、土、II番館は月、水、金で男子3名、女子2名の計5名で業務を遂行しています。内容は入室者のフロア、共同生活室、個室などの清掃です。I番館はII番館よりワンフロア広いため、それに合わせたシフトを敷いています。「会員さんの仕事ぶりはまこと

に丁寧で、床などはピカピカに磨いてくれるので、入居希望で見学される方からの第一声は『きれいですね』と必ず言われます」。

会員の皆さんは口をそろえて「健康のため」また、「それが生きがい」と答えられるとのこと。

「就業上、特に注意事項としてはありませんが、入居者の方は会員さんとの会話などのコミュニケーションを楽しまれているので、今後は傾聴ボランティアなどがあれば活用したい」と言われました。

(取材・吉川編集委員)



**染谷の里 大宮
四季彩霊苑管理事務所 様**

見沼区にある四季彩霊苑管理事務所に森泉千春所長をお訪ねしました。案内して頂いた霊苑は、平成24年に開苑したもので、従来の墓地とはかなりイメージが異なっています。バリアフリーの通路と四季の花が咲く低い生垣で整然と区画され、要所には桜の古木や竹林の小径が配置され、明るく清潔で、さながら公園のようです。

管理事務所の仕事は、苑内の設備の点検維持、清掃、来訪者の対応、法事の準備・立ち合い、墓地・法事に関する相談など多岐に渡っています。「清掃はシルバー人材センターにお願いしました。苑内の落葉処理と雑草取りが中心の仕事です」。「シルバーの方は、暑さ寒さの中、弱音ひとつはかず、また仕事が大変丁寧です。ご供養に訪れる来苑者に対する挨拶などに人生経験が感じられます」とお褒めの言葉を頂きました。

墓地管理士や遺品供養士などの

資格を取得し、席が温まらないほど忙しく飛び回っている森泉所長ですが、「霊苑に眠る霊が安らかに休まれるようにとの思いで、供花の花おろしは自分でやっています」。「供養に楽しく来て頂けるように、暑い時期にはかき氷を、寒い時期には温かいお茶を、と来苑者に喜んでもらうための接待も常に模索しています」と話していました。

（取材・後藤編集委員）



大和物産(株) 東京支店

物流課主任、安斎淳様にお話しを伺いました。

「割り箸を1本ずつ箸袋に差し込む仕事をシルバー人材センターに発注しています」。

与野事務所内の作業室で内職班の女性7人が月曜から金曜までの9時から16時、1日約2万膳、月に約60万膳、大宮事務所の内職班と合わせ、1カ月に約100万膳も仕上げています。天然木なので、不良品のチェックもしています。

「13年前に市報でシルバー人材センターに仕事を頼めることを知り、さつそくお願いしました。最初はここまで続くとは思いませんでした。皆さんに熱心にやって頂き助かっています。以前はあちこちの内職やパートさんに依頼していたので、廻るのが大変でした。『手間賃何銭』の世界ですが、仕事が途切れないことがシルバーにとってもメリットかと思えます」とおっしゃいます。与野、大宮に

続き浦和事務所とも契約すること

になったそうです。

大和物産の本社は奈良県で創業90年、もともと割り箸から始まった会社で、今では紙コップ、紙おしぼり、紙皿、レジャーシートなども扱っています。プラスチックへの不安から割り箸の需要は増えており、外食チェーン、コンビニ、百円ショップ、ゴルフ場などからの注文があると言われました。

陽気で元気いっぱい安斎さんは岩槻区に住み、奥さんと双子の高校生と小学生の楽しい5人家族だそうです。

（取材・馬場編集委員）



地域班活動

中央区 第一地域

地域長 山内 忠義

第一地域は中央区の東部地域を受け持ち8班、会員約200人で構成されております。

班長会議は年4回、地域奉仕活動は年2回、地域会議は年2回開催しております。班長会議には常に問題意識をもって出席するように要請し、地域会議のテーマは班長会議で議論し、時代と時期にマッチしたテーマで実施することにしております。

今年の1回目の地域会議は「マインバーカードの概要とその活用等について」をテーマに、さいたま市行政区推進部から担当者に来ていただき説明を受けました。

2回目は、11月下旬に開催しました。寒い時期になりますと火災による高齢者の死亡事故が多発していることから、「高齢者の火災事故防止と火事が発生した場合の迅速

適切な消火対策等について」中央消防署から講演と実技の訓練を受けました。

班長会議、地域会議、地域奉仕活動を定期的に継続して実施することにより、班長意識の高揚を図るとともに、会員の皆さんが興味と関心を持つようなテーマで地域会議を開催し、参加人員の拡大を図っております。

今後も第一地域のモットーである「明るく、元気で、活動的な第一地域」を実践してゆく所存であります。



岩槻区 第四地域

地域長 鈴木 浩平

私も第四地域は、東岩槻駅周辺で、南口と北口があり、会員は98名、五班からなっています。

南口は南平野一丁目から五丁目及び東岩槻五丁目と六丁目からあります。北口は東岩槻一丁目から五丁目及び諏訪一丁目から五丁目と上里一丁目から二丁目が担当地域です。

毎月の地域長会議は岩槻事務所で行います。班長会議は「ふれあいプラザいわつき」にて毎月行います。また8月には東岩槻祭りがありますが、翌朝6時に駅前の埼玉りそな銀行前に集合し、約1時間お祭り後の清掃ボランティア活動を自治会の役員さん方と協力して行っています。

30年度の第1回地域会議は10月26日(金)、ふれあいプラザいわつきを会場に行いました。会員14名が出席、鶴川所長、島村理事にも同席頂き、第五地域長の新井進さんより講演をして頂きました。

テーマは「高齢者の心とからだの健康維持」、40分の講演で参加者一同理解を深めました。

第2回地域会議は岩槻区全地域合同の地域会議を岩槻本丸公民館・視聴覚ホールにて、平成31年3月13日(水)に計画しています。担当は鈴木第四地域長と新井第五地域長。研修会のテーマは「働く会員の就業形態」について、島村京一理事に講演して頂く予定です。



親睦互助会

「平成30年度日帰り旅行記」

大宮支部 長谷川 治

晩秋の11月5日、平成30年度ふれあい会日帰り旅行『マンズワイン小諸ワイナリー工場見学試飲と懐古園・海野宿散策の旅』が58名の参加で実施されました。

早朝7時25分大宮を出発したバス2台は約2時間後、小諸ワイナリーに到着。工場では勝沼で栽培した葡萄を熟成してワインを生産する工程を見学した後、ワインを試飲しました。甘口や辛口、いい気分になってきました。次の目的地までバスで10分、懐古園近くの昼食会場に到着。小諸蕎麦、野菜等の煮物、デザートにおはぎを頂きました。信濃の蕎麦は癖がなく何杯でも食べたくなります。

昼食後、懐古園の見学です。平安から鎌倉時代に木曾義仲が築いた近くの館が始まりだそうです。園内には苔むした城壁等があり、

歴史を感じさせる佇まいであり、

また島崎藤村の記念館も設置されています。紅葉を楽しむ会員、歴史を学ぶ会員等各自思い思いに散策しました。最後の目的地は東御市の海野宿です。同宿は、江戸時代において北国街道の宿場町で、約百軒の歴史的な街並みが保存され、「日本の道百選」にも選ばれているそうです。約1時間の市職員



「秋の日帰り旅行」

浦和支部 鈴木 英俊

浦和支部は10月17日(水)と10月25日(木)の2回に分けて日帰り旅行を行いました。行き先は「小江戸サツパ舟と古い町並みの旅」、参加者は10月17日35名、10月25日は62名で、合計97名でした。「小江戸サツパ舟と古い町並み」は千葉県香取市佐原にあります。

埼玉会館裏の中央公園を7時30分に出発、車中ではビールとつまみが配られ少しほんのり気分になりました。「道の駅水の郷さわら」で買い物、新鮮な野菜等が豊富にありました。

佐原に到着、小野川でサツパ舟に乗船、13名定員のため分乗して古い町並みを川下りで楽しめました。その後は川沿いにある伊能忠敬旧宅、伊能忠敬記念館を見学、近辺を散策しました。伊能忠敬は没後二百年になります。49歳迄商人、50歳から江戸に出て測量家になり、73歳で逝去。日本初の実測地図を作りました。

その後、地元の酒蔵「東薫酒蔵」

で日本酒の試飲と買い物をしました。昼食は「海鮮倶楽部清水」でいただき、豪華な海鮮料理に皆さん満足されていました。

帰路、バスの中でビンゴゲームを行い、半数の方に豪華景品？が当たりました。最後に「牛久大仏」に寄り、胎内には入りませんでしたが見学、大きさには圧倒されました。17日は予定時間に、25日は昼食場所に少しトラブルがありました。全員無事に中央公園へ到着しました。



「与野支部活動状況」

与野支部 山内 忠義

11月4日に「記念艦三笠の見学と神奈川グルメの旅」をテーマに実施しました。

城ヶ島では、北原白秋に想いを致しつつ海鮮定食をいただき、記念艦三笠では、東郷元帥と三笠が勝利したロシアとの日本海海戦を偲びました。

11月10日・11日は中央区区民まつりに親睦互助会として出店し、バザー用品を販売するとともに、役員は全員参加で宣伝活動を展開しました。

また、10月に開催された中央区コミュニティ協議会主催の「事例研究のつどい」において「シルバー人材センターの概要と親睦互助会の活動状況」について発表をしました。来場者の皆さんから盛大な拍手をいただき、解りやすく聞きやすかったとの「声かけ」もいただきました。

5月の総会で与野支部の motto を「仕事を大事に、他人を

大事に、自分も大事に」と決めましたので、会員がこれを実践しつつ「明るく元気で活動的な与野支部」づくりに努めて参ります。



「秋の日帰り旅行」

岩槻支部 落合 詔夫

岩槻みどり会親睦研修旅行は横須賀軍港めぐりと三崎港ショッピングの旅を企画しました。

今回の旅行は、9月19日に開催、一風変わったこともあり、参加人数は68名となりました。今年、楽しみにしていた新年会が会場の都合で中止となったことで、久しぶりの会員とお会いできる楽しみもあり、皆さん全員早めにお揃いになり、7時30分に出発しました。心配された天候も参加者の願いが叶ってか、絶好の旅行日和となりました。

道路状況も良好で、予定時刻に最初の目的地、三崎港ショッピング市場に到着、美味しい海の幸を買い求めた後に、お楽しみみの昼食です。今回は「漁師料理よこすか」の料亭で期待どおり美味しい海鮮料理を頂き、堪能しました。お腹を満たしたところで、次の目的地は横須賀の定番スポットになっている軍港めぐりです。人気

があり、大勢の観光客で賑わっていました。

アメリカの海軍と海上自衛隊の艦船を間近で見ながら、港を船で巡る日本で唯一のクルージング。

巨大な空母や潜水艦やイージス艦等、普段見ることのできない壮観な光景に圧倒されました。船内ではわかりやすい明瞭な説明があり、思っていた以上の有意義な「親睦研修旅行」となりました。



女子会活動報告

与野事務所
スイーツ会



大宮事務所
手芸品作成会



女子会とは、さいたま市シルバ
ー人材センターの女性会員自らが
主体となり交流の場を設け、会員
活動を活性化させることで、女性
会員の入会促進、退会抑制、地域
会議や定時総会の出席者数の増加
などにつなげるため実施している
ものです。

大宮事務所では10月31日に
「みんなで作るお楽しみ会」と題
し、牛乳パックとペットボトルキ
ャップで作るおしゃれな手芸品作
成会を実施しました。



牛乳パックの小物入れと
ペットボトルキャップのミニハット

与野事務所では7月26日に、
「簡単・褒められスイーツ会」と

題し、料理がお得意な会員の指導
で、コーヒー寒天、チアパオツ
ー（揚げドーナツ）、バナナポート
を作りました。



チアパオツー、バナナポート
コーヒー寒天

その他にも下記の通り女子会を
実施しました。いずれもご好評い
ただいており、回を重ねることに
協力していただける会員さんも増
え、皆さんのアイデアが活かされ
ています。

浦和事務所では平成31年1月
29日（火）に浦和ふれあい館で、
初めての女子会を開催する予定で
す。会員の皆様のご参加をお待ち
しています。

大宮事務所

7月11日 お茶会

会場・大宮ワークプラザ

7月25日 お茶会

会場・生きがい活動センター

8月3日 お茶会

会場・生きがい活動センター

10月31日 手芸品作成会

みんなで作るお楽しみ会
会場・生きがい活動センター

与野事務所

5月22日 バラ鑑賞会

場所・与野中央公園

7月26日 夕涼み

簡単・褒められスイーツ会

会場・下落合公民館

10月9日 秋散歩

場所・大宮盆栽村周辺

岩槻事務所

6月23日 お茶会

会場・岩槻事務所

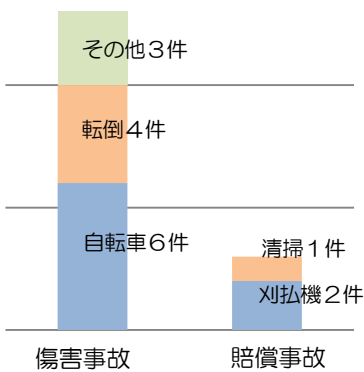
安全だより

平成30年度上半期事故状況は左記のとおりです。

前年度と比較して、賠償事故が大幅に減少しています。「安全のしおり」「事故取扱基準」などの施策もありますが、何よりも会員の皆様の「事故を起こさない」という気持ちで事故減少につながっています。

平成30年度上半期事故状況

	傷害	賠償	合計
当年度	13	3	16
前年度	15	18	33
増減	△2	△15	△17



賠償事故は3件発生していますがその内2件は刈払機の石跳ねによる事故でした。養生が不十分であったことが原因ですが、作業別安全就業基準を守り事故の未然防止に努めてください。

一方で傷害事故については減少しているものの、いまだ半期で10件を超える事故が起きています。事故分類としては自転車事故が6件、転倒が4件、ノコギリによる裂傷、スズメバチによる刺傷、重いものを持ったことによる腰部圧迫骨折がそれぞれ1件で、往復途上の自転車事故が多くなっています。「とっさの判断の誤り」「大丈夫だろうという過信」がケガに繋がっています。

高齢者自転車交通安全講習会

ブリヂストンサイクル株式会社ご協力のもと、高齢者自転車交通安全講習会を昨年度から実施しています。

今年度は10月26日に与野事務所、29日に高齢者生きがい活動センターにて、それぞれ午前の部・午後の部として計4回の講習を実施し58名が参加しました。

初めに「自転車を安全に乗るために」というテーマで講義が行われました。加齢による能力低下を認識すること、自転車安全利用五則を守ること、自転車利用者が加害者になる事故が18年間で3.2倍になっていることなどをお話しいただきました。

講義に続いてシミュレーター危険予測体験とバランス体験を行いました。シミュレーターでは車道の通行など危険な状況を体験し講師から指導を受けました。バランス体験では開眼片足立ちで何秒立

つていられるかを測ったり、実際に自転車に乗って細い道を走ったりしてご自身の平衡感覚を確認しました。

参加者には安全運転の重要性、加齢による能力低下を再認識していただきました。自転車事故が増えていることから来年度も引き続き講習会の開催を検討します。



→シミュレーターによる危険予測体験



実車によるバランス体験←

- 〈自転車安全利用五則〉
- 一、自転車は車道が原則、歩道は例外
 - 二、車道は左側通行
 - 三、歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行
 - 四、安全ルールを守る
 - 五、子供はヘルメット着用

お友達誘ってお越しくたねよ
ホワイトコンサート

多くの市民にセンター事業を紹介し、会員増強や就業の場の確保につなげるため、(公財)さいたま市文化振興事業団のアウトリーチ事業に協力して「60歳以上の方のためのホワイトコンサート」と題し、センター事業紹介と合わせて歌とピアノのコンサートを開催いたします。

センター事業に興味を持っていらっしゃる方や、会員になっていないお友達等にお声掛けいただきますようお願いいたします。

募集要項は、次の通りです。

日時：平成31年2月24日(日)

午後2時～4時

会場：浦和ふれあい館

さいたま市浦和区常盤

申込：1月7日(月)から電話で

さいたま市シルバー人材センター本部事務所まで(先

着順)

電話：048(669)0303



前回の様子
(平成29年12月開催)

※アウトリーチ事業とは、文化芸術活動の振興を目的として、公的機関や、公共的文化施設などが、プロのアーティストを地域へ出張させるサービスです。

シルバー人材センター

愛称決定!!

県内シルバー人材センターの上部団体である埼玉県シルバー人材センター連合では、シルバー人材センターのイメージアップを目的に愛称を募集していましたが、「シニアパワーステーション」と決定しました。

シルバー人材センターの名称が変わるものではありませんが、今後チラシやポスターなどPRの場においてこの愛称が活用されていきます。

また女性のシルバー人材センター会員は「シルボンヌ」という愛称になりましたが、男性の会員につきましてシルバー人材センター愛称の応募作の中から「シルバトラ」(※)という愛称が採用されました。

これらの愛称によってイメージアップを図ってまいります。



シニアパワーステーション
ロゴマーク

※Butler

英語で執事の意味

表紙

大宮公園南道路添いの赤松
「日本三景みな松を主とす」(大町桂月)と云われるように、松は日本風景の代表選手です。明治24年9月大宮公園に来た学生の正岡子規は「松林のなかに萩が盛りだ」と書きました。今も名残りがあり公園内に赤松が目立ちます。縁起の良い樹でもあります。

編集後記

あけましておめでとうございます。平成の年号でご挨拶するのでもこれが最後です。いつものことですが、会報第35号の発行にあたって、会員と発注者の皆様にご協力頂きました。感謝申し上げます。本誌が会員の皆様にとって魅力あるものになるためには、と編集委員では討議を重ねました。マンネリに陥ってないかと顧みつつ、編集に取り組みました。どうか皆様の声をお聞かせください。

(編集委員会)